

水田裏作亜麻の雑草防除について（予報）

向野 一*・清松 清高*

MUKUNO, K., and KIYOMATSU, K. On the Weeds Check of Flax into the Second Crop a PaddyField (preliminary report)

暖地の水田裏作亜麻栽培上雑草の発生は亜麻の生育
取量には勿論、除草努力、収穫能率等々相当大きな問
題である。筆者等はこの問題について CaCN₂ 及び下

繁作物（れんげ、クロバー）等を用いて昭和 27 年以
降 3 ヶ年間若干の試験を行つたので茲にその一部を報
告する。

1. 試験方法

第 1 表 試験方法の概要

年次	供試品種	区制及 1 区面積	播種期	処理別及 CaCN ₂ 並亜麻播種量れんげ、クロバー混播											施肥量				
				A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	過石	塩加	硫安		
昭 27	ライラル クラウン	3 区制 1 区 3 坪	2 月 18 日	(8) 0	(8) 6	(8) 9	(8) 12										5	1.5	CaCN ₂ 区 以外は 6 貫
// 28	〃	〃	〃	(8) 0	(8) 6	(10) 6	(12) 6	(10) 9	(12) 9	(14) 9	(10) 12	(12) 12	(14) 12				〃	〃	
// 29	サギノ-1 号	3 区制 1 区 1 坪	〃	(8) 0	(8) 9	(10) 9	(12) 9	(10) 12	(12) 12	(14) 12	(8)れ 0	(10)れ 0	(8)ク 0	10 〃 0			〃	〃	

備考 処理別欄 () 内は亜麻下種量、(れ) はれんげ (ク) はクロバー混播

* 播種は撒播とし覆土は床面をレーキで縦横に掻き軽く鎮圧 CaCN₂ は播種鎮圧后全面撒布

* 大分縣農業試験場宇佐分場

2. 成績及びむすび

第2表 CaCN₂ と下繁作物混播法との対照 (昭27~昭29)

年次	CaCN ₂ 6貫区		CaCN ₂ 9貫区		CaCN ₂ 12貫区		下繁作物 (れんげ)区		同(クロバー)区		備考
	雑草歩合	亞麻収量	雑草歩合	亞麻収量	雑草歩合	亞麻収量	雑草歩合	亞麻収量	雑草歩合	亞麻収量	
昭27	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	1. 各欄数値は標準区に対する百分率とす
// 28	55.0	96.0	43.0	103.0	44.0	111.0					
// 29	62.0	81.7	60.0	78.0	55.0	66.3					
			70.0	85.0	60.3	89.3	57.0	110.0	65.5	103.0	
平均	58.5	88.9	57.7	88.7	53.1	88.9	57.0	110.0	65.5	103.0	

(1) 第2表から見てCaCN₂法よりも下繁作物混播法(クロバー・れんげ)が亞麻の収量並びに下繁作物の飼肥料的価値(第3表)等の点から考察して優れている。

(2) 第3表からみて下繁作物としてのれんげ・クロバー間では繁茂速度及び亞麻の鬱閉に対する感応等の点からクロバーが優れている。

(3) CaCN₂法では尺間200本以上の雑草多発地には相当期待出来る。然しこの場合亞麻の発芽障害等を考えて2~3割程度の播種量増加が望ましい。(成績表省略)

第3表 下繁作物(紫雲英クロバー)混播法成績

区別	雑草発歩合	尺間亞麻茎数	亞麻収量歩合	地上部生体重(反当)
標準区	100	137	100	0
紫雲英区	亞麻8升播	54	173	340
	// 10升//	60	165	354
クロバー区	// 8升//	60	174	575
	// 10升//	71	169	550

備考 1. 混播量反当紫雲英2升クロバー7合とす
2. 下繁作物刈取期6月25日